

きたひろしま

広島県
北広島町

議会だより

vol.28
2012・5・1

ユネスコ無形文化遺産登録「壬生の花田植」



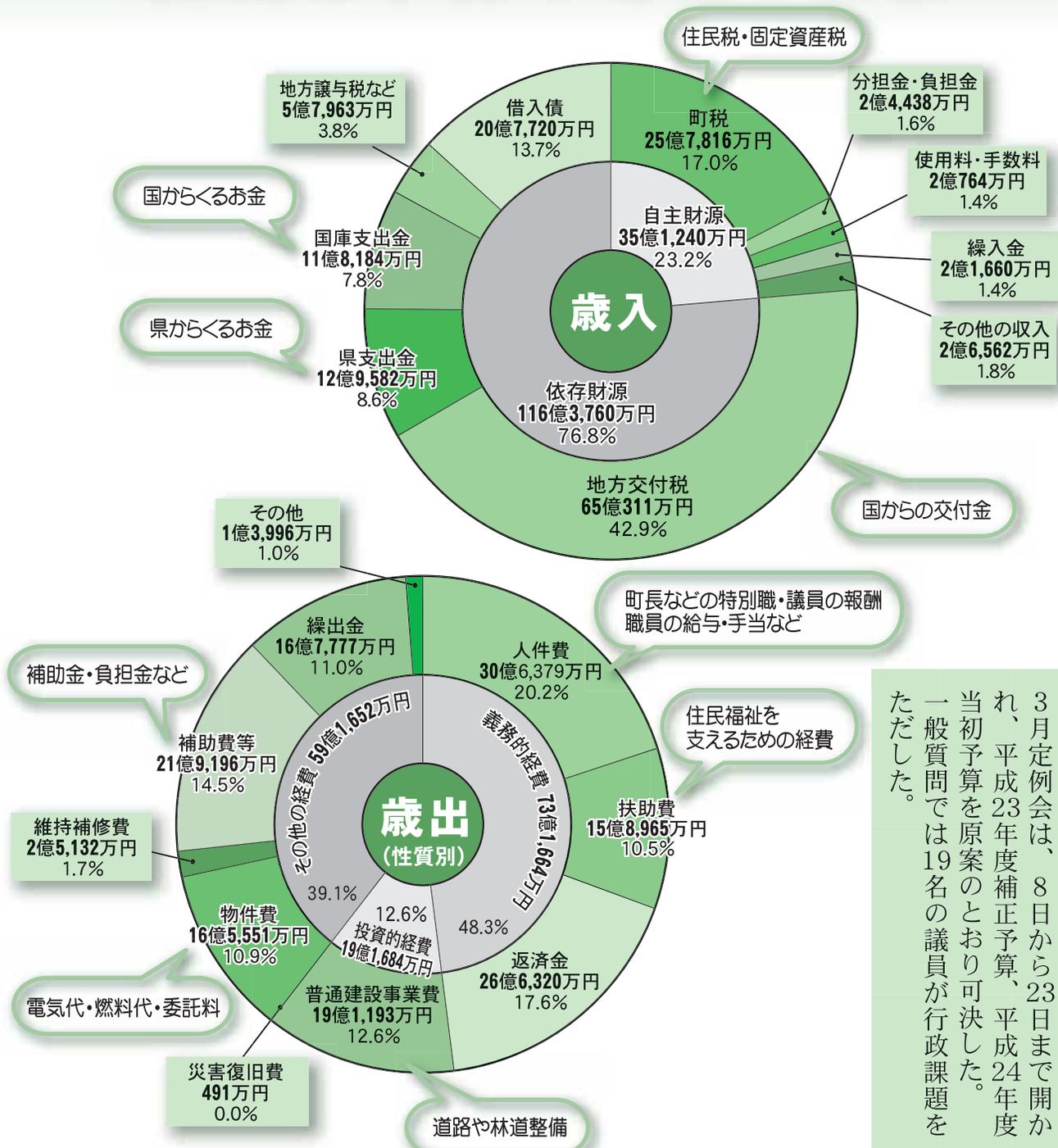
第1回定例議会〈会期：3月8日～3月23日〉

- 平成24年度一般会計予算……………P2～3
- 新年度の主な事業……………P4
- 予算審査特別委員会……………P5～8
- 一般質問 19議員が町政を問う……………P9～18
- がんばってます！（雄鹿原小学校・南方小学校）……………P19
- グループ紹介……………P20

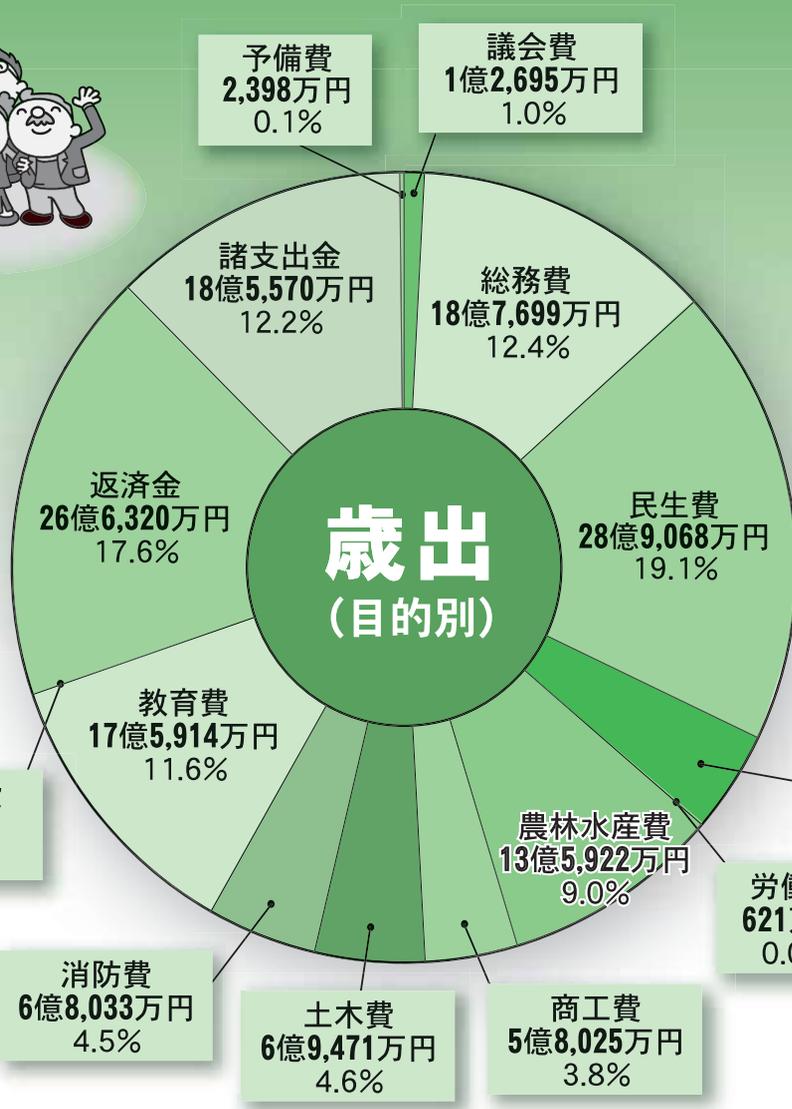
平成24年度一般会計予算

151億5,000万円

農業振興への新たな挑戦
 学校教育の環境整備
 福祉と子育て環境の強化



3月定例会は、8日から23日まで開かれ、平成23年度補正予算、平成24年度当初予算を原案のとおり可決した。一般質問では19名の議員が行政課題をたどした。



平成24年度一般会計予算の歳出を目的別に分類すると左のグラフのとおりである。増要因の主なもの、総務費の過疎自立促進基金積立金、商工費の道の駅第2期整備事業、教育の小学校施設改修や「壬生の花田植」関連経費などである。

町長の「新年度施政方針」

1 定住と交流の拡大による地域再生

住宅の整備、定住環境の整備、伝統文化の保護育成、スポーツ振興、観光客の誘致

2 活力ある地域経済の創出

新規就農者の育成確保に支援、道の駅「舞ロード」の整備、農道・水路補修支援、有害鳥獣駆除対策補助、間伐材利用、企業誘致の促進、「壬生の花田植」記念行事、地域通貨コースの発行補助

3 学校教育・子育て支援の充実強化

子育て支援センターの充実、保育環境の充実補助、学校統廃合による環境の整備、学校給食施設の改修、教育支援員の配置

4 住民と行政の協働のまちづくり

頑張る地域応援補助金、資源ごみ減量化・リサイクル化補助、地域施工支援事業

5 安心と安全のまちづくり

災害に強いまちづくりシステムの構築、公共工事・一般住宅耐震化補助、千代田プールの新設温水化(千代田運動公園内)

6 財政健全化の取り組み

指定管理制度や民間委託、職員定数の見直し、債権管理・回収対策の強化

新年度の主な事業

小学校の新築・改築（新規）

8億506万円

- 芸北小学校の改修工事
- 豊平統合小学校の新築工事
- 壬生小学校新築工事の設計



壬生小学校

道の駅第2期整備事業（新規）

3億500万円

- 産直物販・舞台付きレストラン棟の建築
- 緑の広場整備



現在の道の駅

若者定住促進住宅建築（継続）

5,210万円

- 志路原団地3戸建築



建築予定地

「壬生の花田植」関連（新規・継続）

1,949万円

- 多言語パンフレット制作
- 宣伝グッズ製作
- 会場整備費 など



「壬生の花田植」

きたひろネット指定管理料

1億1,229万円

消防救急無線のデジタル化

1,655万円

消防緊急通信指令システムの部分更新

6,500万円

平成24年度会計別当初予算額

会 計 名	平成24年度当初予算額	対前年度比較（増減額）
一 般 会 計	151億5,000万円	6億円
国民健康保険特別会計	22億3,200万円	7,400万円
下水道事業特別会計	6億9,800万円	100万円
農業集落排水事業特別会計	3億5,400万円	△1,600万円
介護保険特別会計	23億4,200万円	1億5,100万円
簡易水道事業特別会計	3億900万円	△600万円
電気事業特別会計	4,690万円	200万円
芸北財産区特別会計	120万円	△2,300万円
診療所特別会計	1億7,400万円	500万円
情報基盤整備事業特別会計	4億2,100万円	6,100万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,480万円	1,650万円
計	220億290万円	8億6,550万円

公 営 企 業 会 計	平成24年度当初予算額	対前年度比較（増減額）
水道事業会計	1億5,940万円	2,594万円
豊平病院事業会計	8億4,026万円	△1,091万円

予算審査特別委員会 主な質疑・答弁

3月19日と21日の2日間開かれた予算審査特別委員会での主な質疑と答弁の内容は以下のとおりである。

- 問** 千代田温水プールの予算執行を見合わせ、議会の了解があるまで凍結するつもりはあるか
- 答** 必要になれば報告する
- 問** 固定資産税収入が減っている主な要因は何か
- 答** 企業の売却、廃業などにより償却資産が減っている
- 問** 老朽化した芸北の火葬場対策を考えているか
- 答** 検討し補正で対応する
- 問** A企業に売却した土地代の納入状況はどうなっているか
- 答** 詳細については発言を控える
- 問** 子育て・高齢者あんしん住宅リフォーム普及助成事業の周知の徹底及び申請が予算枠を超えた場合は補正で対応するつもりはあるか
- 答** 補助金は必要である
- 問** 選挙公報条例をつくらば実施するか
- 答** 必要があれば選管にかけて考える
- 問** 保健師が不足しているのではないか
- 答** 専門職であり嘱託や臨職等で対応する
- 問** きたひろネットの4億円問題が起きてから2年たつが未だ説明がない。きちんと説明せよ
- 問** ジェネリック薬品との差額通知の効果はいくらと考えているか
- 答** 呉市を例にとると年間約1000万円削減になる
- 問** 小学校卒業まで通院費も無料にするつもりはないか
- 答** 考えていない
- 問** 必要になれば報告する
- 問** 企業の売却、廃業などにより償却資産が減っている
- 問** 子育て・高齢者あんしん住宅リフォーム普及助成事業の周知の徹底及び申請が予算枠を超えた場合は補正で対応するつもりはあるか
- 答** 広報への掲載や業者にも知らせる。また補正で対応するよう努力する
- 問** 保健師が不足しているのではないか
- 答** 専門職であり嘱託や臨職等で対応する
- 問** きたひろネットの4億円問題が起きてから2年たつが未だ説明がない。きちんと説明せよ

問 他の市町のように国保会計に一般会計から赤字補てんの繰り入れをする考えはないか

答 繰り入れはしない

問 臭気・水質検査結果を公表すべきではないか

答 ホームページで公表する

問 住宅太陽光発電設置に対する補助がなくなったのはなぜか

答 県の補助がなくなったため

問 ホープタクシーの利用料が高いため見直すつもりはないか

答 検討する

問 道の駅の「太鼓」はいくらか

答 2700万円

問 道の駅・緑の広場整備費3000万円の内容は

答 詳細は新年度に決めるが、駐車場の復旧、夜

間照明設置、休憩施設などを考えている

問 道の駅の産直システム・ICTの利用料はいくらになるか考えているか

答 結論をだしていない

問 園芸施設ハウスに補助してはどうか

答 要望があれば補正で対応する

問 きたひろネットの指定管理料に含まれている新規引込線工事は何件か

答 年間約60件

問 「壬生の花田植」田楽団の太鼓や衣装に補助してはどうか

答 必要であれば町で補助する

問 町民運動会は今後どうするか

答 種目を決め、出たい人が出る方法など考える

平成24年度

一般会計 特別会計

反対討論

賛成討論

議会最終日の3月23日、提案された平成24年度一般会計予算と特別会計予算に対し行われた反対討論と賛成討論（要点）は以下のとおりです。

● 一般会計予算

反対討論

中村勝義

突然の千代田温水プールは議会軽視

事前に何の説明や協議もなく突然の千代田プール整備計画は議会軽視。プールが必要なのは認めるが4億円の温水プールのための資金の余裕も成功する保証もない。さらに毎年2600万円も赤字。十分な議論が必要であり、地域にも理解と納得を求め合意のもとに

反対討論

美濃孝二

税金の使い方を あらため福祉を守れ

①採算の見通しのない10億円の道の駅と2700万円の「太鼓」は見直せ。②4億円の千代田温水プールは議会、住民の同意がない。③部落解放同盟の補助金、A企業の土地未払い問題など不公平な行政。④諸問題が未解決の豊平統合小学校建設。⑤全国52%の自治体

が実施する小学卒業までの通院医療費の無料化を「考えていない」と子育てに冷たい。

賛成討論

真倉和之

財政政策と 行政政策が均衡

新規就農者の育成、学校教育充実のための学校建設、子育て支援の充実や人件費の削減、公債残高の減少、財政調整基金の目標早期達成など財政政策推進と行政政策推進との均衡が図られている。

賛成討論

日山静樹

千代田地域では 強い要望

千代田地域にはプールのない学校もあり強い要望がある。リハビリにも有効である。限られた財源をバランスよく配分してある。

賛成討論

蔵升芳信

町の将来が 期待できる予算

財政改革による人件費・物件費の削減、町債残高の大幅削減、学校施設整備や道の駅整備など普通建設事業費への積極的な予算編成など、町の将来が期待できる予算である。



→千代田プール八重東

●国民健康保険
特別会計予算

反対討論

美濃孝二
赤字補てんの
繰り入れをすべき

値上げを抑えるため
の赤字補てんの繰り入
れをしない。資格証の
発行を続け、医療費を
下げるための健診受診
率を増やす補助拡大も
行わない。

賛成討論

箕牧智之
十二分に議論を交わし
採択されたもの

町民の医療費は右肩
上がりの状態であり、
国の法律をはじめたく
さんの制約のなか決し
て楽な会計の運営には
ならないが、お互い助
け合うための保険制度
である。

●介護保険
特別会計予算

反対討論

美濃孝二
保険料の値上げを
含んだ予算

保険料値上げ分80
00万円を含む。利用
料が高く、減免を求め
たが実施しない。住民
の声をしっかり受け止
めず、必要な対策をと
らない姿勢では庶民の
暮らしは守れない。

賛成討論

中田節雄
国に支援を
望むことはできない

介護の負担は年々増
加し全国的な問題であ
る。国からの支援を望
んでも世界でも類をみ
ない国債の発行残高と
東日本の復興に大きな
予算が必要であり、本
町の予算の中で解決す
るほかない。

●情報基盤整備事業
特別会計予算

反対討論

美濃孝二
引き込み線工事は
町の負担で

指定管理料の限度額
は決まっており新規加
入が増えるほど業者の
負担は増える。引き込
み線工事費は業者の負
担になっている。町が
責任を持って施工せよ。

賛成討論

蔵升芳信
有線撤去・
指定管理者導入の予算

要望の強い有線電柱
撤去の設計委託費・一
部工事費が計上されて
いる。また指定管理者
制度導入による経費節
減・放送内容の充実が
図られることを期待す
る。

●後期高齢者医療
特別会計予算

反対討論

美濃孝二
年齢で差別する
制度は廃止を

保険料8%の値上げ
の予算。この制度は高
齢者が増えるほど保険
料が上がる仕組みであ
り、年金からの天引き、
滞納者に対する差し押
さえも他の自治体より
多く年齢で差別する医
療制度は廃止をせよ。

賛成討論

箕牧智之
県の高齢者
医療制度である

県単位の高齢者医療
保険制度の予算は、高
額所得者に多額の保険
料を求め、小額の年金
受給者には低額の保険
料をお願いする県の高
齢者医療制度であり反
対する理由はない。

提出された議案に対する

反対討論

賛成討論

●介護保険料
改定の条例

反対討論

美濃孝二
基金活用し
値上げ抑えよ

暮らしを苦しめてい
る介護保険料を23・
45%、年12、720
円も値上げ。町民の福
祉の増進のため介護給
付費準備基金を全て取
り崩し値上げを抑えよ。

賛成討論

中田節雄
給付費が増えれば
保険料も増える

給付費が増えれば当
然保険料も増え、収支
を合わせるためには値
上げも避けられない制

●権利の放棄に
ついて

反対討論

美濃孝二
詳しい資料も
納得できる説明もない

二年続いて住宅新築
資金等貸付金の権利を
放棄するもの。正確な
資料の提出もなく納得
できる説明もない。



全議案の審査結果と各議員の賛否

**予算審査特別委員長が
一般会計予算審査報告で
附帯意見**

予算審査特別委員長は一般会計の審査報告の際、左記の「附帯意見」を付けました。

附帯意見とは、議決された予算案などに付けられる意見

千代田温水プール整備事業は突然の計画である。今回設計及び整備工事費が一般会計予算に計上されているが、まず整備計画をもとに具体的に議会に説明し、町民の理解を得たうえで予算を提案されるべきである。大きな事業を行うっていく中での方針、計画も示されずに、当初予算の施政方針で唐突な提起があった。

この予算を否決すると町民生活に大きく影響し、当初予算から削減すると国の補助金も充たされているため、プール整備事業全て否定することになる。よって採択とするが、千代田温水プール建設に当たっては今後、議会との合意を得るまで事業執行停止とし、新年度に入って全町プール整備計画を示し説明を求める。

提出議案審査結果と各議員の賛否

○賛成 ●反対

議案名	藤堂	蔵升	梅尾	田村	美濃	室坂	浜田	真倉	久茂谷	藤井	中村	日山	大下	箕牧	宮本	亀岡	中田	大林	伊藤	審議結果	
平成 23 年度一般会計補正予算 (第 4 号)	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 国民健康保険特別会計補正予算 (第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 下水道事業特別会計補正予算 (第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 介護保険特別会計補正予算 (第 4 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 簡易水道事業特別会計補正予算 (第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 電気事業特別会計補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 芸北財産区特別会計補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 診療所特別会計補正予算 (第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 情報基盤整備事業特別会計補正予算 (第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 水道事業会計補正予算 (第 3 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 豊平病院事業会計補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
過疎地域自立促進基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
企業立地奨励条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人権センター設置及び管理条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
へき地保育所設置条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険条例の改正	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町営住宅設置及び管理条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
図書館条例の改正	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の無償譲渡について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
過疎地域自立促進計画の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
権利の放棄について	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療広域連合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
字の区域の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 24 年度一般会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 簡易水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 電気事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 芸北財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 情報基盤整備事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
" 豊平病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
情報通信施設の設置及び管理条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成 23 年度一般会計補正予算 (第 5 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※加計議長は採決に加わりません

19議員が町政について問う

どうなる？ 私たちの町づくり



亀岡 章治

問 道の駅整備では産直の更なる拡充を求める

答 集客力を高め 4億6千万円を成し遂げたい

問 駐車場の整備も終り、産直・レストラン棟の基本設計が広報で発表された。膨大な投資額を考えると失敗は絶対に許されない。産直物販の拡充を求め、町長の見解を求める。

ものでなくてはならない。

答 町長 販売目標4億6千万円へ27年を目指し万全を期す。生産・出荷・販売の一貫したICTシステムの構築を図る。

技術については、県農林振興センターの指導を受ける。町・JA・生産者の連携強化と共に、町内出荷協議会の連合体を組織し、冬の生産力を高める。レストラン等集客力を高め、産直の販売強化を図る。

広島北ホテルが神楽付きディナーショーを始めた。道の駅レストランへの影響は。

答 町長 本町の伝統文化の広がりを示すものであり、更なる普及拡大に好影響だ。

問 冬期間野菜の出荷量が激減している。年間を通して野菜の安定した生産体制と栽培技術の指導が極めて重要だ、対策を求める。

答 町長 冬期間の野菜が毎年少ないのでハウス栽培を増やし、生産



→ハウス栽培

問 道の駅産直は、本町の小規模農家の経済を大きく潤す

答 町長 冬期間の野菜が毎年少ないのでハウス栽培を増やし、生産



梅尾 泰文

問 子育て世代を応援する医療費の無料化

答 今後の極めて重要な課題と認識

問 少子化が進む中、自治体の取組によって少子化に歯止めがかかっている所もある。

その取り組みとは、医療費の無料化が中学生・高校生まで拡大をすることである。

本町の現状と今後の方向を聞く。

答 町民課長 県内外で医療費の無料化を行っている所もある。本町は無料ではないが就学前の乳幼児の通院、入院費助成をしている。入院については小学生まで拡大をした。自己負担額は、通院の場合最高で月2千円、入院で月

7千円である。

問 子どもが多い家庭は、熱やケガ、腹痛など医療費負担は家計を直撃する。医療費の無料化が少子化に歯止めをかける特効薬にはならないかもしれないが、今後考えられないか。

今後の極めて重要な課題であるという認識で、いろいろな角度から検討していく。

答 町長 医療費のことを含めて総合的な対策と、バランスを取りながら行ってい



→病院待合室



日山 静樹

問 「ぴいばぶ」の
これからの方向性は。

答 小規模作業所
福祉課長

「ぴいばぶ」を取り巻く環境や、関係者の意向を考慮しながら、障害者の自立と社会参加、介護負担軽減のため障害福祉サービス事業所誘致を目標に掲げこれまで推進してきた。平成25年に社会福祉法人「みぶ福祉会」が事業所の開所計画をされ、「ぴいばぶ」と同様な就労支援を計画されているので、本町としてもこの施設を支援し障害者を優先的に考え、今後検討を進めてゆく。

問 障害者作業所の今後は

答 新たな事業所を
支援していく

問 きたひろネット
ト告知放送は迅速的確に。

答 総務課長

本町地方防災情報伝達の柱として位置づけている。警報発令を受け、本町の気象情報収集・分析の結果、避難準備を要する場合や町道等の被害状況、また、町民に注意喚起や警戒を促す必要がある場合など機能を十分に活用し、町民が必要な時に必要な情報を的確に提供できるよう努める。

問 きたひろネット
トセンター長

答 顧客サービスや利用者の拡大、番組作成・施設の維持管理など、

民間のノウハウや経験を活用したほうが安定かつ効果的運営ができると判断した。また情報通信専門事業であるため、ICTを活用した最先端技術サービスの提供など専門的な観点から充実が図られると考えている。



→きたひろネット用
スピーカー

問 何故きたひろ
ネットを指定管
理にするのか。



真倉 和之

問 千代田中学校
をなんとかしよ
うと平成19年発起人8
人で千代田の教育を育
てる会を発足し、設立
総会に多数の出席をい
ただき正常化に向け行
動したことを思い出し
ますが、現況と学習態
度はどうか問う。

答 教育長

本年度は千代田地域学校支援連絡協議会を独自に立ち上げ千代田の子どもをみんなで育てようという取組を通して保小中高が縦と横の連携をより密にし共通認識のもと、学校と保護者地域の方とのつながりを深め千代田地域が一体となり子育てに関わっていきうという気運が高まっ

問 公教育の現状と展望を問う

答 共通認証のもと
子どもの教育に取り組んでいる

問 北広島町の一般競争入札総合
評価方式は元請施工実
績技術者の資格要件が
5年間、広島県は元施
工実績有する建設業者
の受注機会を確保す
るため直近 15年に
延長しますが何を基
に決められているの
か問う。

答 財政課長

平成20年度総合評価方式の試行導入の際国が策定した地方公共団体向けの総合評価マニュアルに基づき施工実績は入札参加資格要件とせず過去5年間の元請施工実績を加点とする評価項目等を

設定したうえで試行を実施してきた。今後は試行結果及び県の入札制度の見直しの動向並びに総合評価方式の設定条件評価項目等の見直しなど入札制度の改正を検討して行く。



→双葉保育所



中田 節雄

問

特定健診の受診率の向上をどうするのか

答

周知内容を充実し健康意識の向上を図る

問

国民健康保険税

の負担が大きくなっており、病気の早期発見、早期治療によって医療費の減になることから、特定健診の受診率向上が緊急の課題である。国は今年度の受診率の目標を65%としているが、どう対応していくのか問う。



→ 検診風景

答

保健課長

現在の受診率は38.7%であり、広報やきたひろネットを通じて周知してきたが、今年の内容を更に充実し、一人でも多くの方が受診できるように、健

康意識の向上に取り組む。

問

合併以来7年間の町政を振り返って今後の対応は

合併当初の財政調整基金(預金)は1億円

答

町長

本町の基礎基盤は、着実に固まりつつあると思っている。物事は順調ではなく、険しき道のものであった。さらに行財政改革を断行し、農業振興、教育改革を進め、本町の潜在能力を大きく発揮する道すじをつけていく。

問

本町の新規就農者支援は、ハ

ウス等の導入支援や、就農研修・農業技術大スクール就学支援事業など様々な事業が行われ、若き青年が就農している。新年度より国事業、新規就農対策事業で、就農する者に対し、研修期間年150万円を最長2年間給付する事業が行われる。町は、この事業に上乗せを考えているのか。豊平にある新規就農者研修施設に風呂の設備は必要ないか。また研修生受け入れ農家にあつて、リフォームを必要とする場合の支援は考えられないか問う。



久茂谷 美保之

問

新規就農者対策は

答

国の事業に上乗せする

事業の上乗せは、北広島町独自で行っていた支援事業の半額を上乗せる。豊平地区に整備された、北広島町新規就農者研修施設は、ハウス6棟あり研修生が利用している。風呂の設備については、現在シャワーが設置されているため考えていない。またリフォーム支援も同様である。

答

産業課長

新規就農対策



↑ 太田川学園のハウス



藤井 勝丸

問

ごみの減量化・リサイクルの重点施策を問う

答

「資源ごみリサイクル」を重点に

問

「資源ごみリサイクル町民総ぐるみ運動」成果と課題（千代田地域はスーパーで多量に回収されているので町民1人当たりの成果は低くなっている）

①スーパーなどの回収協力事業者への支援は
②「いいね大朝」など廃油回収組織への支援は。

答

町民課長

成果は町内35団体の参加があり290トン収集し145万4000円の助成金を交付

紙・アルミ缶の部門で成績の良かった豊平地域に40万円、スチール缶・ペットボトル部門で大朝地域に40万の



→ゴミ収集ステーション

奨励金を交付した。

初年度としては相当の成果があった。不公平感のことも勘案し盛り上げていく。反省点は地域によって組織、活動に差がある。

①スーパーなど協力業者への支援は考えていないが啓発は行う。
②家庭からの廃油回収

問

ごみ問題の重点施策は。

答

「資源ごみリサイクル」を重点に

は回収する組織より廃油を出す側への支援を研究する。

問

ごみ問題の重点施策は。

答

町民課長

ごみ処理からごみの減量化、再利用、資源化に転換している。

「資源ごみリサイクル町民総ぐるみ運動」の定着させるために「きたひろネット」を活用して啓発に努める。生ゴミ減量対策は減量化・分別など費用対効果を検証し検討が必要である。



箕牧 智之

問

ひとり暮らし高齢者の課題を探る

答

大きな検討課題として善処する

問

高齢者の多くは戦前の教育を受け戦争に負け、戦後の貧しい生活の中から這い上がり、社会保障制度が行き届かない時代を過ごされてきた。親との同居生活でみとられ自分が高齢者の身となった今、時代の激



→老人会総会

しい変化の中で核家族化と称して子どもと離れて生活されている人の多いこと。働き盛りに立派な家を建てられながら、空き家また広い家に一人暮らしの家が多いのが実態である。町では、担当の各課、社会福祉協議会、

民生委員さんが対応に追われている。担当課の職員の増員はできないか。70歳を超え一人暮らし世帯数を問う。また、高齢者の交通事故が多い。対策として県道整備の進め方を問う。

答

福祉課長

町の高齢者の一人暮らしは1千4百世帯である。旧町では高齢化率で豊平が一番高い。

答

建設課長

県道七曲千代田線のセンターラインほか維持工事については傷み具合を見て善処したい。改良工事については大島橋工事完了後続いて県に要望する。

答

総務課長

高齢者対策での専門職員増については今後の課題として検討する。



中村 勝義

問 新規就農総合対策事業の現況は

答 体制を整え積極的に募集していく

問 次世代を担う意欲ある担い手を確保し、農業を専業とする経営者を育成することが求められている。支援策、6事業の現況を問う。

答 投資支援事業、⑤経営安定支援交付金事業、⑥就農交付金事業

①農業インターシップ事業、②農業技術大学校就学支援事業、③就農研修支援交付金事業、④初期

答 産業課長 ①本年度2名受入、②2名就学中で



→トラクターによる荒起こし

問 壬生の花田植公開と保存、活用策を問う。

答 生涯学習課長 町と花田植保存会の2者構成に壬生地区振興会・観光協会・商工会・NPO広島音楽芸術研究所などを新たに加えて、実行委員会体制の充実強化と、安全対策に万全を期す。

問 ユネスコの世界無形文化遺産に登録されて初めての公開となる。当日は大混雑が予想される。その体制づくり

答 学校教育課長 本町で履修武道は、剣道が適当と判断した。



宮本 裕之

問 平成24年度施政方針を問う

答 魅力ある町づくりに取り組む

問 震災ガレキの受け入れの考えは。町花・町木・町鳥の制定はいつするのか。

答 町長 ガレキの受入れは復興へのためできる限りの支援をしたい。

米軍機低空飛行に対し監視強化と騒音測定機を設置する考えはないか。千代田地域センターの必要は誰もが認めるが、財政難で温水プールを廃止する自治体も増えている中、毎年3000万円から赤字が出る温水プールが必要な

可燃ゴミの処理には限りがあるが、粗大ゴミは年間350トンの受入れが可能。町花・町木は節目の時期を見て策定したい。騒音測定器は国が設置するものと考え要望していく。温水プールについては、体力向上、健康増進に一定の効果もあり、保険医療の貢献に期待する。



→低空飛行をする米軍機(F-18 ホーネット)

問 塾長「古川正雄」を道徳教育の柱にして伝記本の作成はできないか。

答 教育長 本町川小田出身の偉大な教育者である古川正雄については、町内多くの学校の社会科の授業で紹介されている。伝記本の作成には具体的な事実が必要であり難しい。



室坂 光治

問 高齢者の不安解消・事故による損害賠償

答 総合的に検討・期発見迅速な対応をする

問 一人暮らしの高齢者世帯が増えている中で、高齢になればなるほど日々の生活に不安が募ってきます。一人暮らしの不安解消について行政として今後どのような対応をされるのか、また交流の場や冬の寮生活を送る等の事業構築の考えはないか。2点目、事故による損害賠償について、公園遊具等の定期的点検や公用車の点検と安全対策はどのようにされているか。道路上のグレーチングの浮き沈みでの事故が3件発生、道路沿いの立木の積雪による倒木など、大変危険です。常に点検し安心安全な町づくりを求める。

答 福祉課長 高齢者一人暮らしの方への取組は、さまざまな制度や施策を活用し対応をしているが、現実問題として限界に近づきつつある。各課がこの問題に総合的に対応し、具体的な対策をつくり上げ取組を進めていく。また、冬期の共同生活については、小学校統廃合も視野に入れ、全町的に進めていく。

答 建設課長 グレーチングの破損や倒木に伴う事故の防止策として、通勤中の職員による点検や住民通報への迅速な対応等により安全なまちづくりを推進する。

事故防止推進月間を設けるなど職員に事故防止の周知徹底を図る。

答 総務課長 公園遊具については、毎年1回専門の点検業者により点検を実施し安全管理に努めている。また、公用車については、



→薬師公園滑り台



大林 正行

問 業務の効率化を目指した高度情報化戦略は

答 クラウド型基幹系システムを導入する

問 電算システムのクラウドコンピューティング導入の研究結果は。

問 ゆうあいネットの撤去は。

答 総務課長 県指導でクラウド型基幹系システムの導入の検討を行っている。

答 きたひろネットセンター長 10月から調査し撤去工事を行う。屋内設備は町民に実施してもらう。

問 きたひろネットを活用した新システムの展望は。

問 町のシンボルとなるような統一的なサインの整備状況は。

答 きたひろネットセンター長 高齢者、障害者を対象とした支援システムなど指定管理の中で効果、コストなどを見極め検討する。

答 企画課長 商工会青年部、広島大学、町の3者で目指すべき方向性、北広島町らしさの共通認識を作りサイン整備理念の構築を行っている。

問 サイン計画は、壬生の花田植、

答 企画課長 まだ出願段階だが、町民の皆さんにはどんどん活用していただきたい。

問 壬生の花田植、

答 企画課長 壬生の花田植の商標登録の利用手続きは。

→薬師公園滑り台



藤堂 修壮

問

少子高齢化は地域の体力を徐々に奪いその集合体である集落は麻痺状態となりつつある。そのため集落の中には数年先には機能しない集落が発生する。今後集落のあり方をどのように考えて進めるべきかその取り組みは喫緊の課題と考える。早急に現状調査を行い、意見収集や集落の問題点を的確に把握して対策を打たないと取り返しがつかない事態になると考えるがその取り組みは。

答

企画課長

北広島町には262集落がある。その内10世帯未満で65歳以上の人口が50%を超える集落がある。現状



↑ 過疎の進む集落

問

集落維持の低下にはどめを

答

全町的プロジェクトとして取り組む

改善の見通しは立っていないが、今後担当課とも連携し集落の実態やニーズを把握し、地域と行政が共通理解のもと限界集落対策を推進する。町内にワーキングチームを立ち上げ、社会福祉協議会・民生委員・行政区長や地域の方々の協力を得て集落点検をおこない、課題や要望等の把握をする。24年度は全町的プロジェクトとしてこの問題に取り組む。



美濃 孝二

問

東日本大震災後、緊急情報の伝達方法が見直されている。安芸高田市は全戸にIP電話・告知放送端末を設置し、工事も利用料も無料だ。現在千代田地域の4割はきたひろネットも防災無線もなく伝達手段がない。町には生命・財産を守る責任があり千代田地域から全町の未加入世帯に引き込み線工事を施工せよ。

答

町長

全戸に入っ

ていないことだけで他の市町に劣っているかのようというが、防災・災害対策を理解しているのか。



→ 益田市が配信したミサイル発射のメール

問

国は伝達手段の多様化が必要と言っており、外出中や農作業中でも伝達できる携帯メール配信を。

答

総務課長

携帯を所持していない方も多く、効果があるのか疑問である。

問

全世帯への緊急情報伝達は町の責任ではないか

答

きたひろネットと防災無線を有効に使う

答

総務課長

5年先のことでありその時に勘案し考える。

問

住宅リフォーム助成事業の希望者が多ければ予算を増やせ。

答

福祉課長

努力する。

県は住宅リフォーム工事費の一部を助成する制度は経済効果があると認め、来年度から全市町に広げるため200万円を限度に補助する。しかし本町は半分しか活用せず、申請が予算を超えても受け付け、補正で拡充せよ。

問 有線は災害に弱い。防災無線は残せ。



伊藤 久幸

問 震災復興支援策・ガレキの受け入れは

答 国からの正式な要請等があれば対応する

問 「東日本大震災からの復旧復興」あれから1年。平成23年度どのような支援をしたか。また、震災ガレキの受け入れはあるか。

答 総務課長 平成23年度は救急隊・保健師等人的支援、緊急生活物資・義援金・住宅供給等の応援をした。平成24年度は国・県の具体的計画支援策に基づき対応する。

問 明、要請があれば対応する。

問 温水プール整備 備総事業費4億円、管理運営費3200万円、利用料600万円が上程された。千代田地域にプール施設の必要性は認めるが、温水プール施設は一考の余地がある。住民・議会が納得できる説明を求める。

答 教育長 千代田プールの老朽化と移転対象、壬生小学校舎建築による解体、八重東小・千代田中にプールが無いことから共用プールが必要。町民の健康体づくりのため整備したい。

問 交付金や町税の減、経済の低迷等考えられるが、財政への圧迫はないか。

答 財政課長 プールの統合によりある程度カバーできる。



→千代田プール(八重東)



大下 正則

問 きたひろネットの利用拡大は

答 指定管理後も加入促進につとめる

問 「きたひろネット」の加入を現状で留まらせていてはいけない。又、新年度からは指定管理に移行されるのか。加入率、多機能の利用拡大の向上はどうなるのか。残りの未加入者をどのような方法で呼びかけるか、加入しない要因は何なのか。契約金が必要だからか。

答 きたひろネット トセンター長 加入しない要因は多々あるが、ダイレクトメールなど全戸加入の呼びかけにつとめている。

問 方法。

答 きたひろネット トセンター長 国際的な番号なのでセンターでの短縮はできない。050・5812を※印に置き換える研究をすすめる。

でも受信しよう研究したい。多機能の利用は指定管理のコストと他の市町の状況を見ながら検討する。

答 きたひろネット トセンター長 携帯電話の難聴緩和は会社の方針で決まるのですぐには難しい。きたひろネットの受信率は調べていないのでわからない。

問 電話番号の11桁を短縮する計画はあるのか。050・5812を短縮する

答 保健課長 消防署の機器が「きたひろネット」



→あんしん電話

国から正式文章での説

答 町長 「ガレキの受け入れ」は基本的には町をあげて支援したいが、絶対安全が保障されなければ判断できない。

国から正式文章での説

答 町長 「ガレキの受け入れ」は基本的には町をあげて支援したいが、絶対安全が保障されなければ判断できない。

国から正式文章での説

答 町長 「ガレキの受け入れ」は基本的には町をあげて支援したいが、絶対安全が保障されなければ判断できない。

国から正式文章での説

答 町長 「ガレキの受け入れ」は基本的には町をあげて支援したいが、絶対安全が保障されなければ判断できない。



濱田 芳晴

高齡化対策を問う

第5期介護保険事業計画が
はじまる

問 農業者の高齡化がすすむなか、

2名の研修生の選考があった。国の24年度政策は担い手を育てる事業がスタートした。このチャンスを活かし、地元から担い手が育つ必要があるが、周知しているか。

答 産業課長 周知は北広島町農林業振興資料を全戸に配布。その他農業集団会議などで示す。

問 豊平病院の内科医師は。

答 病院事務部長 新年度より非常勤医師が広島大学病院から1名、安佐市民病院から1名週1回来

高齡化対策を問う

第5期介護保険事業計画が
はじまる

ていただく。

問 介護福祉施設に入所希望される待機者はどれくらいあるか。対策は。

答 保健課長 550名の待機がある。第4期計画で199の定員、第5期計画(26年)51床増床の250名の定員に、また小規模多機能型も26年までに現定員50名を100名にする計画。

問 障害福祉サービスは21種に分かれて217名の方が受けておられるが、立支援が中心で自立がむずかしく親が高齡になった時、入所を希望されても対応できるのか。

自立支援法による福祉サービスが中心で介護給付・訓練給付地域支援事業があり25年度には入所できる事業が始まる。

答 福祉課長 自立支援法による福祉サービスが中心で介護給付・訓練給付地域支援事業があり25年度には入所できる事業が始まる。

問 障害とはいえない中途卒者で就業に困難な方はどれくらいいるか。親が高齡になれば、対応はどうか。

答 学校教育課長 数名はおられるが全体の調査はできていない。



↑町立豊平病院



蔵升 芳信

自然エネルギー普及への
取り組みは

国の施策に呼応し対応する

問 福島原発事故以来、全国的に電力不足が危惧され、自然エネルギー活用への期待、普及促進の重要性が叫ばれている。こうした状況を踏まえ、新年度における新工への取り組みを問う。

答 町長 国は本年7月に新しいエネルギー政策を決めることになっている。これに普及促進のための具体的政策が出てくると思う。こうした国の政策に呼応しながら、町として積極的に対応を図る。

問 新年度予算に新工への補助

金が見当たらないが廃止か。

答 企画課長 県の制度が終了、本町の補助金事業もこれに伴い終了となる。国独自の補助金制度は継続される。

問 小水力発電所の電力買い取り単価の引き上げ見通しは。

答 企画課長 川小田小水力発電所は来年3月末に契約更新となる、新年度に単価の引き上げを求め交渉する。

問 メガソーラー発電所立地の見通しは。

答 企画課長 具体的な立地

に向け協議・交渉を行っている企業がある。交渉中であり具体的な公表は控える。



→用水路に設置されたマイクログ小水力発電所、山梨県都留市役所前

問 きたひろネット指定管理制度導入による加入促進策は。

答 きたひろネットトセンター長 指定管理者に決まった業者のノウハウを最大限活用し、連携して取組む。

がんばっています！



雄鹿原小学校 (37名)

4月6日朝、2年生以上が全員そろっての始業式。午後からは元気いっぱいはりきっている1年生を迎える入学式を行い新年度が始まりました。

今年度は「あ・そ・べ・た・よ・ね」あー挨拶・そー掃除、かたづけ・べー勉強・たー体力・よー読む・ねー寝るを合言葉に、文字どおり遊ぶことも楽しみながら「体・徳・知」のバランスのとれた子ども達に育てたいと思っています。

あー挨拶では、特に児童会の取り組みと関連させています。4月の目標は「気持ちのよい挨拶をする」です。



▲春の田植え実習

毎朝、児童会の役員が挨拶のたすきをかけて、玄關で、「おはようございます。」と声をかけています。私達職員もおお手本となる挨拶をし、レベルを上げていきます。

たー体力では、業間運動で決まった時間をひたすら走り続けること、縄跳びを跳び続けることを通して、体力と多少苦しいことでも耐えることのできる「耐力」をつけていきたいと考えています。

南方小学校 (17名)

南方小学校では、始業前の15分(8時~8時15分)に朝運動を行っています。1学期は一輪車、2学期はマラソン、3学期は縄跳びです。

一輪車は運動会に全員で演技を行い、保護者や地域の方に見ていただきませす。1年生も運動会をめざして練習をがんばります。運動会には高学年と一緒に手をつないで入場し、1人で乗れるようになっている子もいます。マラソンは12月に開催されるマラソン大会に向けて練習します。初めは3周で息切れしている子どもも、大会が近づくにつれ5~6周を簡単に走ることができるようになっています。昨年の大会では、保護者の方の応援もあり、自己ベストを更新する子が続出しました。縄跳びは、南方小学校

の検定表をもとに級を上げるべく、寒い体育館でがんばります。一つの技を多く跳んだり、難しい技に挑戦したりします。どのようにしたらできるか友達に教えてもらったか教えたりする姿も学年を超えて見られ、ほほえましい光景です。2月には縄跳び発表会を行い、保護者の方に日ごろの成果を披露することができました。

昨年は5・6年生が営農組合の方に教えていただいた機械での作業を行いました。トラクターで荒起こしや代掻きを行い、田植え機での植え付け、コンバインでの稲刈りなど大きな機械に乗っての作業は一人前の大人に見えました。

1~4年生は地域の野菜作りの達人に来ていただいてジャガイモやアス



縄とび練習

このように本校は、地域の方々に見守られ、お世話になりながらさまざまな体験をさせていただいて教育を推進しています。南方の豊かな自然やあたたかい人たち、南方のよさを子どもたちに伝えていきたいと思っています。

グループ紹介



神楽「厳島」



琴庄神楽団のみなさん

『いつくしま厳島』を演じる「きんしょう琴庄神楽団」 (団員21名)

町内には60団体を超える神楽団があつてどの団体も長い歴史と伝統を守り続けて今日に至り、盛んに演じている。

NHKの大河ドラマ「清盛」にちなんで新たな創作「厳島」に挑戦されている琴庄神楽団を訪ねてみた。玄関入り口には所せましとトロフィー、カップが並び数々の賞を受賞されている。

4月のある日の夜9時、団員がかなり揃ったところで若い団員が練習を始めた。女性団員も4名おり、40年の歴史のある神楽団、いまは平均年齢30代、神楽に魅せられて遠くは広島市安佐南区から通う団員もいる。今年も出演依頼がすでに40件以上もきているという。団長を務める崎内俊宏さんの厳しい指導のもと練習は深夜まで続いていた。

「壬生田楽団」と「川東田楽団」がその伝統を伝えている。またその歴史の深さから1976年国の重要無形民俗文化財に登録され、2011年にユネスコ無形文化遺産に登録された。毎年6月最初の日曜日に開催され、びやかな装束をつけた飾り牛、かすりの着物の菅笠をかぶった早乙女、見事なバチさばきを見せるおはやし等、そのいずれもが新緑の山や田の水面にマッチして初夏の一大絵巻となっている。

西日本には鎌倉時代の頃より、田植えの際には音頭取りが打ち合わせる「ささら」の拍子にあわせ、大太鼓や小太鼓、笛や手打鉦でおはやしをし、早乙女が田植え歌を歌いながら苗を植えていく風習があった。サンバイ(田の神)を祭って無病息災と五穀豊穡を願う農耕儀礼であるとともに重労働である田植え作業を楽しくこなすための工夫でもあった。



表紙の写真 ユネスコ無形文化遺産登録 『壬生の花田植』

編集後記

本町合併8年目を迎えた新年度予算は、小学校統合に伴う学校建設などもあり、普通建設事業費が大きく伸びる積極的予算となった。

一方、合併後町債借金(は大きく減額し、基金(貯金)はある程度貯まりつつある。

少しずつではあるが町の将来に明かりが見え始めたように思える。

議会も町民に期待されるものとなるよう議会改革に向け、定数・報酬・議会基本条例の制定など、6月議会には一定の方向性を出せるよう活発な議論を展開している。

